

多摩川クリーン作戦を開催します

多くの皆様のご協力により、多摩川クリーン作戦も通算で第64回目となります。市では「調布市都市美化の推進に関する条例」を平成10年4月に施行し、多摩川の河川敷を「美化推進重点地区」に指定しています。河川の環境を守り、美化を推進するため多摩川クリーン作戦にご参加ください。

- 日時** / 4月8日(日) 午前8時～9時(小雨決行)
集合場所 / 団体参加：多摩川河の各拠点(のぼり旗で表示)
 個人参加：京王相模原線鉄橋下の本部(当日直接会場へ)
持ち物 / 軍手 ※動きやすい服装でお越しください。清掃用具は市で用意します。



緑と花の祭展

市内の緑化推進の一環として緑と花の祭典を開催します。

- 日程** / 4月28日(土)～30日(休)
時間 / 午前10時～日没
会場 / 市役所前庭
主催 / 調布市緑と花の祭典実行委員会、調布市



飼い犬の登録はお済みですか

狂犬病予防法により、飼い犬には生涯1回の登録と年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています。犬の登録は、環境政策課(市役所8階)で受け付けます。鑑札をお渡ししますので、飼い犬に着けてください。手数料は、3000円です。

また、市外から転入した場合や、調布市以外で登録済みの場合は、その犬の鑑札を持参すれば登録手数料はかかりません(紛失した場合は、再交付手数料1600円がかかります)。

狂犬病の予防注射は、原則として4月から6月末までに行うことになっています。※未登録や鑑札を着けていない、予防注射を受けさせない、または市が交付する「注射済票」を飼い犬に着けていない場合は、法律により20万円以下の罰金に処せられます。

問合せ / 環境政策課電話 481-7087



飼い主のマナーが問われています ～犬を散歩させるときの3つのルール～

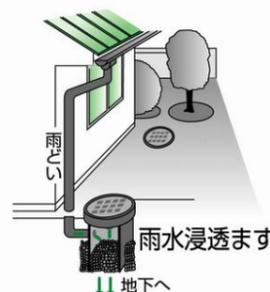
- ①散歩中のフンは必ず持ち帰りましょう
- ②電柱や他人の家の壁などにしたオシッコは水で流しましょう
- ③犬をリードでつなぎ、とっさの行動に対応できるようにリードは短めに持って散歩しましょう

雨水浸透ますの設置にご協力ください

雨水浸透ますとは、屋根に降った雨水を雨どいを通して集め、地下に浸透させるための設備です。これまで下水に流していた雨水を地中に浸透させ、緑豊かな自然の保全と湧水の復活、地下水のかん養、河川の治水対策などのため、市では市内全域にお住まいの方に「雨水浸透ます」の設置をお願いしています。

費用は全額市が負担します。協力いただける方は、環境政策課へご連絡ください。

- 対象** / 市内の既存一般住宅及び個人所有の共同住宅
協力 / 調布管工土木事業協同組合指定工事店
申込み・問合せ / 環境政策課 481-7086



このニュース誌の感想やご意見がありましたら、お気軽に環境政策課へお寄せください。

ちょうふ環境にゆ～す

未来へつなぐ調布の環境

- 発行：調布市環境部環境政策課
 ●連絡先：電話：042-481-7086(直通) F A X：042-481-7550
 メールアドレス：kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています(トップページ左下からリンクしています)。

2012年3月
第12号

刊行物登録番号
2011-249

夏に向けて壁面緑化を始めてみませんか

「緑のカーテン」「グリーンカーテン」などとも言われる壁面緑化は、建物の外壁をゴーヤや朝顔などの緑で覆うことをいいます。

この壁面緑化は、夏の陽射しを建物の外側でスタシのように遮って、熱の透過を弱める働きがあります。そして、葉っぱの間から涼しい風を通す効果があります。



ご自宅で実践してみよう

ゴーヤや朝顔の壁面緑化は比較的簡単にできます。

①種まき・苗の植え付け

種は4月ごろ、苗は4～5月ごろ、遅くとも梅雨入り前に植えるのが良いでしょう。

②ネットの設置

壁に沿ってネットなどの格子状の補助資材をセットし、プランターはネットの直下に置きます。

③緑のカーテンの作成

ツルが伸びてきたら、ネットなどの補助資材にうまく巻きつくようにし、場合によっては横に這わせるなど、成長を手伝いながらツルの向きを整えます。

④収穫と種取り

暑さが本格的になったころには、大きく育ち花が咲きます。花が咲いた後には、実や種がなり、収穫も楽しめます。ゴーヤが収穫できたときは、ぜひ調理してゴーヤの味を楽しんでみてはいかがでしょうか。また種は、また来年の壁面緑化のために保管しておきましょう。

⑤片付け

秋になり植物が枯れたら、ツルを片付けます。

ゴーヤの種を無料配布します

オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の普及・啓発事業として市に提供されたゴーヤの種を無料で市民の皆さんに配布します。この種は4～5月がまきどきです。

夏の省エネ・節電対策として、壁面緑化をはじめてみませんか。

配布場所 / 環境政策課(市役所8階)

※種がなくなり次第、配布終了となります。

※6月2日開催の第40回調布市環境フェア(荒天中止)においては、ゴーヤの苗を配布する予定です。詳しくは、市報5月20日号「環境月間」の記事をご覧ください。

「調布市いきものフォトコンテスト2011 ～感じよう！生物多様性～」の入賞作品決定！

平成23年7月20日から11月30日まで、市内の自然環境の再発見とともに生物多様性への理解を深めることを目的に「調布市いきものフォトコンテスト2011」を開催しました。

コンテストには102点の応募があり、平成23年12月11日から平成24年2月5日まで、多摩川自然情報館の2階廊下に展示し、入館者の投票で入賞者を決定しました。なお、今年度は多摩川部門と市内部門があり、それぞれ入賞作品が決まりました。



多摩川部門・最優秀賞
工藤 秀和 さん
「朝陽、きらめく。」



多摩川部門・優秀賞
小関 岩夫 さん
「コサギの壮絶バトル」



市内部門・最優秀賞
江部 民雄 さん
「朝日をあびて」



市内部門・優秀賞
萩原 裕 さん
「サギソウ」



市内部門・優秀賞
瀬戸口 実咲 さん
「てすりにしがみつく木」



市内部門・入賞
大久保 哲也 さん
「あとすこした」



市内部門・入賞
藤澤 広毅 さん
「ご飯ちょうだい(2)」



市内部門・入賞
八次 雄一郎 さん
「パクッ！」



市内部門・叶内拓哉賞
権田 陽子
「成りたい物は、何なのか、似てくるのだろうか？虫は虫。」



市内部門・叶内拓哉賞
安藤 聡俊
「睦まやか」



多摩川部門・入賞
石原 耕彦 さん
「鏡面」



多摩川部門・優秀賞
上井 隆 さん
「夕暮れの多摩川に浮かぶカイツブリ」



多摩川部門・入賞
萩原 裕 さん
「仲よし家族」



多摩川部門・入賞
三宅 亮一郎 さん
「多摩川のカマキリ、ギョロリ」



環境市民の交流イベントを実施しました

日ごろから、環境関連の様々な活動をしている市内の22団体と個人、合計53人が一堂に集まり、活動内容の紹介などを通じて交流をはかることを目的とした「2011年度環境保全活動市民の交流イベント」を、2月19日に市民プラザあくろすで開催しました。

当日は、ちょうふ環境市民会議のメンバー運営のもと、プロジェクターとスクリーンを用いて団体の活動を紹介し、その後は、歓談を行ったり、各団体が展示した自分たちのパネルについて説明するなど、お互いの活動に対する理解を深めました。

雑木林塾の卒業式も実施

雑木林塾の第6回は今年度の最終回ということで、2月19日の環境市民の交流イベントに参加し、市民プラザあくろすで、今年度の雑木林塾のパネル紹介や発表を行いました。

また、平成23年度の雑木林塾卒業式ということで、環境政策課長から修了証の授与がありました。

今年度も、市内の環境保全団体の一員となり、今後の活動の場所を見つけた塾生もみられました。



交流イベント当日の様子

環境モニター活動

今年度の環境モニターでは、多摩川の植物図鑑を制作することを目的に、多摩川を中心とした観察活動を行っています。

第5回 多摩川の野鳥観察

2月4日の活動では、いつもの植物観察から少し離れ、多摩川児童公園上流部の多摩川河川敷で、野鳥観察を行いました。

多摩川で進められている河川工事の影響などから、通常見られる鳥の数が少ない状況でしたが、講師による野鳥の見分け方などの解説の下、望遠

鏡を使った観察を行いました。

当日は、ヒドリガモ、キセキレイなどの野鳥を観察することができました



第5回活動の様子

調布水辺の楽校の活動

2月11日に、今年度第4回目となる調布水辺の楽校のイベント「チャレンジバードウォッチング」が実施されました。参加したのは、44人の流域7小学校の子どもたちと保護者34人で、多摩川河川敷において、川にやってくる野鳥の観察を行いました。

当日は、オオバンの多数の群れが見られたほか、

チョウゲンボウの餌をハヤブサが取るうとして攻撃する様子も見られました。また、終了間際にはカワセミが観察できたりと、中身の濃い観察ができました。



2月 活動の様子

【当日観察できた鳥類】

カイツブリ、カワウ、コサギ、ダイサギ、コガモ、オオバン、セグロカモメ、イソシギ、カワセミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、キセキレイ、タヒバリ、ヒバリ、トビ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、

ドバト、ツグミ、ムクドリ、カワラヒワ、ハシブトカラス、ハシボソカラス、スズメ、イカルチドリ